



校舎内の様子（郡山ヘアメイクカレッジ）

みどりの 女神が行く！

の なか あおい
野中 葵

福島県生まれ、
千葉県育ち。
趣味は音楽鑑賞と
お散歩



木造建築物を視察

今回は、私の出身地福島県にある関東森林管理局福島森林管理署に一日署長としてお邪魔しました。

最初に視察したのは、郡山ヘアメイクカレッジです。この学校の校舎は、CLTと集成材フレームを組み合わせたハイブリッド構造になっていて、内装にも福島県産のスギをふんだんに使用。その素敵な造りに思わず感激しました！学生の皆さんも、「コンクリートとの違いを感じます。木の温もりにとっても心が落ち着き、集中して授業を受けられます」と話してくれました。

校舎に入って気がついたのは、香りの良さはもちろん、目にも優しいことです。温かい色合いや木目がとてもオシャレで、居心地良く感じました！コンクリート造りの校舎で学生生活を送ってきた私にとっては、本当に羨ましい環境です。最新の木造校舎で授業を受けられる学生さんたちは、とても恵まれていますね！

CLT建築物がこれからはますます増えていき、次世代を担う若者たちが木の温もりあふれる環境に親しむことで、森林・林業への関心を深めていってほしいなと思いました。

現地検討会への出席



香月英伸署長と（現地検討会）

続いて、阿武隈川流域内の林業関係者に向けた「低コスト造林現地検討会」に参加しました。

私は、これまでみどりの女神としての活動を通して、人が手を加えたことで森林が良くなっていく姿を見てきました。その反面、予算や人手不足等、さまざまな要因により手入れの行き届いていない場所も多く目にしました。

今回の検討会で説明された「低コスト造林」によって経費が節減できれば、今まで十分な手入れを行えなかった森林にも目を向けられるようになりそうです。森林大国である日本で、手入れされた美しい緑をもっと増やし、大切に次世代につないでいくことに繋がるのだと、この取組に感じました。

また会の中ごろには、雨上がりで足下がぬかるむ中、参加された林業関係者の方々の前でプロセッサを操作して、枝払いと造材を披露させていただきました。講習受講後、初めての本格的な実演だったため緊張しましたが、若い女性でも機械を操作できることに驚いてくださる方が大勢いました。

今回体験させていただいた業務はほんの一部だと思いますが、改めて森林管理署のお仕事の幅広さを実感しました！そして、私の生まれた大好きな福島県での一日署長、本当に嬉しくて楽しかったです！森林管理署はじめ、お世話になった皆様、ありがとうございました。



プロセッサ実演